

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

園だより

2023. 5. 9 文責:榎並 理恵

「待つ」ことの大切さ

～自分で考える子どもに～

爽やかな春風が頬に触れ、春の温もりを感じる今日この頃。園庭の鯉のぼりも元気に走り回る子ども達を応援しているように空高く泳いでいます。

新年度がスタートして1か月が経ちました。子ども達は新しい環境に慣れ、それぞれのクラスで楽しくやる気一杯に過ごしています。

今回は「待つ」ことの大切さについて考えてみました。ある先生の言葉に「親がやるべきことは“待つ”ことと“共感”。楽しんで何かを成し遂げた子どもの「できた」「やった」という気持ちに寄り添って「できたね」「やったね」と言ってあげるだけで、子どもには大きな力になる」又、「悩んだり、迷ったり、考えたりする事も子どもの「やりたい」なのだから、親が「早くしなさい」なんて言わずに待つと、子ども自身が試行錯誤するうちに“考える力”が育つ」とありました。私自身も自分の子育ての中でつい自分の都合ばかりを考えてしまって子どもがやろうとしているのに待つと口を出して先に答えを出してしまったり、何をしてもゆっくりな息子に「早く早く」と急かせてしまい自分で考える事を奪ってしまった経験があります。子どもを待つといっても仕事や子育て、家事と幾つもの草鞋を履いてる保護者の皆様には時間が幾らあっても足りないと思います。でも、例えば、2歳の子が靴を自分で履こうとしています。10秒もあれば片足履く事が出来ます。その10秒の時間、子どもがしようとする自立の時間を待てずに手を出したり、「早く」と口を出してしまったり子どものしようとする力が育たなくなってしまう。日常の中のと10秒待つみる習慣をつけるだけで「一人でできた」という達成感を味わい、自信にも繋がっていきます。この自信が子どもの自己肯定感にも繋がっていくのだと信じています。毎日とは言いません。お父さん、お母さんの時間のある時で構いません。子どものやろうという気持ちに付き合ってみるのもいいかもしれません。又、子育てには思いもよらない事も沢山起こるし、子どもに付き合おうと思った矢先にイライラする事が勃発する事もあります。そんな時はこども園を頼って下さい。私達、保育者に悩みや嬉しい事等、話して下さい。子どもが笑顔でいられる事、それにはまず、お父さん、お母さんがゆったりと笑顔でいる事が大事だと思っています。

●お知らせ●

※5月10日のお弁当の日のいちご狩りですがいちご農家さんの都合で日を改めて年長児だけの参加で実施することになりました。お弁当の日はそのままの日程で行いますので準備等、よろしくお願い致します。

※5月21日(日)は大隅北小学校の運動会です。年長児がソーラン節を披露します。

詳細は後日、お知らせ致します。

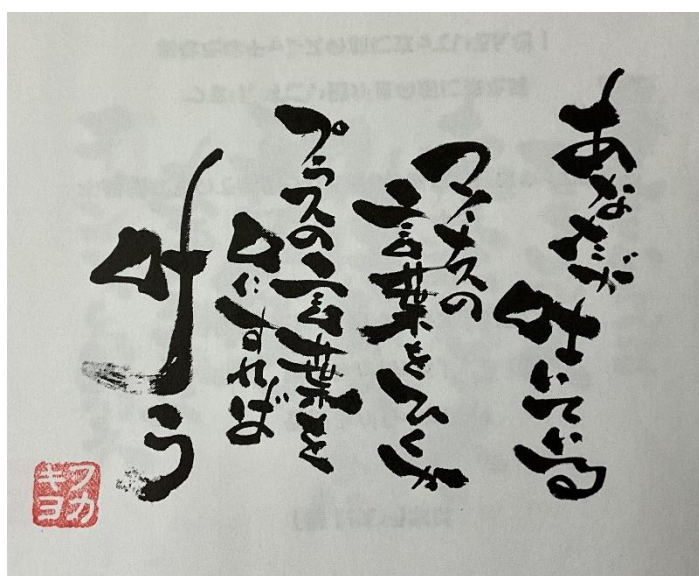
※5月27日(土)は保育参観・子育て学習会です。詳細は後日、プリントを配布致します。

子育て学習会・保育参観の為、送迎はありませんのでご了承ください。

●5月の予定●

8日(月)小運動会 9日(火)避難訓練 10日(水)お弁当の日(1品料理:キャベツ・新玉ねぎ)
11日(木)クッキング(いちご大福) 16日(火)誕生会 26日(金)内科検診(14時～)
27日(土)保育参観・子育て学習会 31日(水)歯科検診(14時から)
※ 26日と31日は、健診がありますので、出来るだけお休みがないようご協力ください。

❀詩を紹介します❀



叶はずの夢を 語らず
グチや文句ばかり 吐いてしまう人は
マイナス「-」の言葉を足している
きっとマイナス「-」の言葉を 引くと
叶うことに つながっていく
グチも文句も 言っていない人は
夢を口にするだけじゃなく
プラス「+」の言葉も足している
それがあなたに染み込んで
あっという間に叶うだろう
口にする言葉が 全てを決めている

苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。

受付担当者 主任保育士 榎並理恵

解決 責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田 瑞穂(099-482-2927) 横峯 友里子(099-474-1506) 山口 和美(090-5473-5866)